令和６年度　日本大学自主創造プロジェクト

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

２０２４―０２４

プロジェクト名　医歯学進路啓発のための高大連携プロジェクト

プロジェクトの概要

日本大学は、医学部と歯学部の両学部および多数の付属中高を有する。この総合大学としてのシナジー効果を活かして、①中高生が進路選択にあたって抱いている疑問に応える講演、②医療技術の体験を実施した。本プロジェクトは昨年度から延べ 255 名に実施し、参加者から高い評価を受けた。本年度は、昨年度よりさらに参加する中高生のニーズに応えるべく、イベント前にアンケート調査を行い、講演・体験内容のブラッシュアップを図った。

プロジェクトの結果・成果

日本大学付属校に所属する中高生に対し、医学部、歯学部への進路選択をサポートするための高大連携を行うことを目的として、昨年度より継続して活動に取り組んだ。２年間でのべ８校、255 名の生徒を対象にプロジェクトを実施し、その効果をアンケート調査から評価した。

①中高生が進路選択にあたって抱いている疑問に応える講演 では、特に今年度は、“中高生のニーズに応える”ことを重視した。このためイベント前にアンケート調査を行って、中高生が疑問に感じていることや知りたいことを把握し、講演内容を改善した。また、掘り起こした疑問に応えるべく、在学中の日大生にアンケート調査を行うことで、我々プロジェクトメンバーの主観に頼らず、“数字から見た日大生のリアル”を届けることができた。

２年間を通して検証したプロジェクト実施の効果としては、講演内容を肯定的に評価した生徒が 95.4%であり、プロジェクトの有効性が示唆された。また、本年度より、日本大学へのイメージが講演前後で変化したかについて調査を追加し、イメージが良くなった生徒が 82.1%であった。学生生活をイメージしやすいように、写真や現役学生へのアンケートを用いた説明を行った成果が得られたのではないかと考察している。

②医療技術の体験 では、一般人と医療現場の衛生観念の違いを体感でき、また、医療ドラマなどで馴染みの深い手術時の体験をできるように、滅菌手袋、ガウンの装着を行った。装具の滅菌状態を保ったまま装着することは難しく、医学部、歯学部では実際に在学中の実技試験の項目にも入っている。医療現場の緊張感を味わいつつも、非常に楽しい体験をできたと参加者から好評であった。本体験は学生課の依頼により、有志メンバーでオープンキャンパスでも実施した。

活動写真





